



復興支援ニュース

宮城県東部保健福祉事務所
(宮城県石巻保健所)

Vol.55



平成28年3月

まちができました (東松島市あおい地区)



2015年2月



2016年2月

変わらず咲きました (路上にて)



日常が戻りました (仙石線全面復旧)



震災から5年が過ぎて

時に昨日をふりかえり
今日の歩みはそれぞれですが
ともに支えあう明日であるように

新しい橋が架かります (新内海橋・石巻)



海にひらく (シーパルピア女川)



難病患者と家族、支援者が集まって情報を交換しました

2月25日(木)にALS(筋萎縮性側索硬化症)の患者さん・ご家族、支援者を対象とした「難病患者・家族、支援者情報交換会」では36名の参加がありました。管内の各種社会資源やサービスの紹介の他、意思伝達装置についてご紹介しました。意思伝達装置とは、手の指先・足・目のまばたきなどでスイッチ操作して短文を選択したり、文字をひろって文章を作成する装置です。また、在宅で人工呼吸器を装着して生活をしている日本ALS協会宮城県支部長の長尾有太郎氏と副支部長の長房利明氏をお迎えし、日頃の生活の様子などについてご紹介して頂きました。参加者からは「管内には難病の人が集まる場所がない。」「ALSの情報を知る機会がない。」等多くの意見がありました。今後は、関係者の皆様と様々な課題を検討する場を設けて患者さん・ご家族を支えていきたいと考えています。



【意思伝達装置(呼び鈴)】

施設での看取りについて学びました

2月16日（火）に県石巻合同庁舎で、「石巻地域での看取りを考える」をテーマとした地域包括ケア推進専門職研修会を開催しました。石巻管内の福祉職、医療職など148人が参加しました。

取組紹介「チームで行う施設での看取りについて」では、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションの職員の方々に、実際に施設で看取られた方への関わりをお話いただきました。施設での看取りを行うために、医師や訪問看護ステーションと連携を取りながら、本人や家族とじっくり向き合って介護を行ったことなどが伝えられました。

祐ホームクリニック石巻の上林孝豊先生からは、「施設での看取りを不安なく進めるために」をテーマに講話をいただきました。先生は、看取り介護の指針を作成するなどの看取りを不安なく行える体制づくりが必要なこと、普段どおりの丁寧なケアが大切であることなどを強調されました。

意見交換では、施設で看取りをすると介護の質が大幅に上がること、本人だけでなく家族とのコミュニケーションが重要なこと、施設の介護スタッフが看取りを学ぶ場が必要なことなど多くの意見が出されました。参加者からは、「看取りに対する不安を軽減できた」「私の施設でも看取りを行いたいと思った」などの感想が寄せられました。これからも、介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らせる、地域包括ケア体制の構築に取り組んでいきます。



【意見交換会の場面】

職員が出前講座に伺います

町内会の行事や学校、PTAの集まりなどに、職員を講師として無料で派遣します。

- (1) たばこ対策
- (2) 歯と口腔の健康づくり計画
- (3) 健康づくり
- (4) 地域包括ケア
- (5) 感染症予防
- (6) 食中毒予防
- (7) 動物愛護（ペットの正しい飼い方）
- (8) 薬物乱用防止
- (9) 献血
- (10) 廃棄物

※上記のメニューにないテーマもご相談を承ります。詳しくは当所ホームページをご覧ください。か、企画総務班までお問い合わせください。

HP:<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/kikakusoumu-top.html>

TEL:0225-95-1420

ひとりで悩まずに こころの相談をしてみませんか



眠れない、気分が落ち込む、アルコール依存症、家族が引きこもっている…などでお悩みの方に、当所では「こころの相談」を行っています。

○精神保健福祉相談：精神科指導医による相談

○アルコール関連相談：精神保健福祉士による相談

○思春期・引きこもり相談：臨床心理士による相談

4月の相談日程については、未定となっております。

まずは、当所保健師にご連絡ください。

※事前予約制（TEL：0225-95-1431）

問い合わせ先

ご意見・ご感想をお寄せ下さい

宮城県東部保健福祉事務所

復興支援情報発信チーム

HP:<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/>

TEL:0225-95-1416(代表)

Fax:0225-94-8982